
nd of Zelda -Index&Magical of Vesperia-

ラギア

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

The Legend of Zelda - Index&map :Magical of Vesperia -

【Nコード】

N2438BA

【作者名】

ラギア

【あらすじ】

ゼルダの伝説 トワイライトプリンセスとスカイウォードソード、禁書目録にまどマギにヴェスペリア。俺が気に入っている物を無理矢理クロスオーバーさせました。

初めて書くので、更新が遅くても叩かないで下さい。

リンクの性格は姫川さんの漫画版ゼルダを参考にしています。

嫌な方はスルー推奨。

このクロスオーバーについて+設定など(前書き)

とりあえず、このクロスオーバーについての説明をします。

使用作品は

とある魔術の禁書目録

魔法少女まどか マギカ

ゼルダの伝説 トワイライトプリンセス

ゼルダの伝説 スカイウォードソード

Tales of Vesperia

誰得なんだろう・・・俺得か

このクロスオーバーについて+設定など

思いついた瞬間、これは完結させたいと思いましたw

この作品は、

ゼル伝トワプリ×まどマギのクロスオーバー

ゼル伝スカイウォード×禁書目録のクロスオーバー

最後に感動(？)の完結編！(ゼルダ二作品×TOV)・・・を予定しております。

完結編だけクロスさせる作品が思いつかなかつたorz・・・
まあギリギリで思いついたからいいけど。

個人的にフレンvsリンクって書いてみたいしw

でもこのクロスオーバーはアリなのか・・・？

凄く怖いデスww

ちなみにトワプリはラストダンジョン直前

スカイウォードはラスボス直前の設定です。

最後に、俺は地の文が下手で、しかも忘れっぽいので、未完結に終わってしまうかもしれません・・・
そうならないように精一杯頑張ります！

(他に考えてるクロスは、ウルトラマンガイア×禁書だったり夢喰いメリー×球磨川だったりアギト×禁書だったり・・・やっぱ妄想するだけで十分ですねw)

さて、設定を少し（ネタバレ注意！）

因みにリンクの性格は姫川さんの漫画版ゼルダを参考にしました。

リンク（TP） 一人称「俺」

ハイラル城の結界破壊直後にまだマギの舞台へワープ。

何故か奥義を忘れてしまっている。

アイテムの殆どは魔女の結界中に散らばってしまう。

狼状態のセンスで魔女を探知可能。

頑張ってハッピーエンドに持つていこうとするが・・・

リンク（SS） 一人称「僕」

過去の封印の地で終焉の者に続く道へ進んだが何故か事故を起こして学園都市へ。

事故の影響でアイテムが四散。加えてSSのモンスターが学園都市に出現。 だけど物語にあまり影響しない。

ネセサリウスの魔術師が「大切な人を助けたい」と発言し、自分に似た想いを感じた為、魔術師に協力する。

冒険ポーチ大活躍（予定）

一応トワプリ編 ワルブルギス撃破まで

スカイウォード編 禁書争奪、セロリ、vs木原等は必ず入れておきたいです。

本編はいつ始まるか分かりませんw

今月中に一話は投稿したいです。

プロローグ：物語の交差（前書き）

やっぱり地の文難しいな・・・
とりあえずプロローグ完成しました。

プロローグ：物語の交差

何も無い、廃墟のような世界に暴れている化け物と、それを遠くから見つめる少女がいた。

彼女は、暴れている化け物を見て歯を食い縛ると、誰にも聞こえないくらい小さな声で呟いた。

「……私の戦場は、ここじゃない……!」
その言葉を発すると同時に、彼女は、この世界——時間軸から、姿を消した。

彼女が次に辿り着いた時間軸は、幾つもの偶然が重なり、奇跡を呼ぶ事になる。

とある都市……

不幸と運命を共にしている少年は、ベランダに引っ掛かっているシスターを凝視していた。

シスターは少年に話しかける。

「……おなかへった」

「……へ?」

「お腹いっぱい食べさせてくれると、嬉しいな!」

「——そして、次の瞬間起こる」もう一つのアクシデント」によって、少年は、逃げることの出来ない戦いに巻き込まれていく。

過去の世界……

螺旋状の坂を降り、最下層まで辿り着いた。

剣を携えた青年の目に映るのは、皆が笑顔になれる道のみ。

ハッピーエンド

剣が青年に語りかける。

「準備は宜しいですか？ マスター」

「．．．ああ、行こう」

「イエス マスター、しもべ ファイはマスターと共に．．．」

ファイと名乗った精霊は少し間を開けて、言う。

「マスター．．．ご武運を」

青年は頷き、最終決戦へと向かう。

だが、決戦は思わぬ形で幕を閉じることになる。

現代も同様に。

現代の世界．．．

激しい雨の中、この世界の中心部にある巨大な城を睨みつけている

青年がいる。

青年は自分の影を見る、すると影から声が聞こえる。

「．．．これが最後の戦いになるな．．．」

そう言いながら実体化する影の住人。

青年は頷き、応える。

「ああ、これでゼルダ姫を救うことが出来る．．．．．いくぞ

「ミドナ」

ミドナと呼ばれた影の住人は、黙って頷き、青年と共に城の扉を開ける。

青年がゼルダ姫に逢えるのはかなり先になってしまふということとは、誰も知らない、知ることが出来ない。

そして、バラバラに見える世界は、やがて一つに収束する。
違う世界、見知らぬ人間を見て、その世界の主人公は、何を思うの
か。

プロローグ：物語の交差（後書き）

ヴェスペリア編は何も起きずに映画の話が進行した設定です。

楽しいけど難しいなWWW

ぼちぼちやっていきます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2438ba/>

The Legend of Zelda -Index&Magical of Vesperia-

2012年1月6日03時51分発行